

授業科目	生涯発達心理学 I (乳幼児期)				
担当者	岡崎 満希子				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

発達とは、誕生から死に至るまでの個体の一連の変化であり、それは環境との相互作用によって成される。本講義では、そのような発達観に基づいて、主に乳幼児期について学んでいく。発達心理学に関する諸理論のみならず、近年の発達科学研究の動向についても触れる。

■ 到達目標

乳幼児期の発達の流れを大まかに掴むことと、各領域でポイントになる項目の理解を目標とする。

■ 授業計画

- 第1回 発達とは
- 第2回 心理発達に関する諸理論
- 第3回 乳児期の発達 1 知覚の発達と乳児研究
- 第4回 乳児期の発達 2 愛着と関係性の発達
- 第5回 幼児期の発達 1 思考の発達と遊び
- 第6回 幼児期の発達 2 遊びと社会性の発達
- 第7回 自己制御機能と自我の発達
- 第8回 まとめ
- 第9回 発達理論 1 (フロイト)
- 第10回 発達理論 2 (ピアジェ)
- 第11回 発達理論 3 (エリクソン)
- 第12回 その他の発達理論
- 第13回 児童虐待について
- 第14回 近年の発達科学研究の動向
- 第15回 まとめ

■ 評価方法

筆記試験80%、小テスト20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

特に重要な点については、その都度指示をしますので、毎回ノートに整理し復習するようにして下さい。

■ 教科書

書 名：生涯発達心理学 認知・対人関係・自己から読み解く
 著者名：鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ
 出版社：有斐閣アルマ

■ 参考図書

書名：よくわかる発達心理学第2版
著者名：無藤隆、岡本裕子、大坪治彦編
出版社：ミネルバ書房

■ 留意事項

教科書に加え、各回に配布するハンドアウトをベースに講義をします。資料が多くなるため、ファイリングすることをお勧めします。小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって

発達心理学は、言語発達の基礎であるとともに、関連する臨床の礎となります。しっかりと取り組んで下さい。